

太陽光発電設置などの開発について

災害、事故の責任はあくまでも事業者



神崎 文男 議員

太陽光発電等の急速な普及は、地球温暖化対策の観点からは望ましいとされる。しかし発電出力が1,000キロワット以上で、いわゆるメガソーラーのような地上設置型の大規模な太陽光発電設置等においては、地域の自然環境、生活環境や景観への影響について懸念されるケースもしばしば見受けられる。そこで本町の太陽光発電設置件数はどのくらいか。

太陽光発電設置の件数246件

町長

2016年8月までの時点で10キロワット以上が246件である。

農地転用件数と面積は

神崎議員

本町における太陽光発電目的の農地転用申請件数及び面積を示せ。それと住民からの苦情はなかったか。

田畑合わせて63件、面積49ヘクタール

町長

平成24年から現在までの農地転用件数は田畑合わせて63件で49ヘクタールである。苦情は今まで2件で、1件は宅地に隣接しすぎている。もう1件は、太陽光の事業を進める中で必要な対策が講じられていない。例えば調整池とか法面補強などの2件でいずれも事業所に指導する。

森林の実態は

神崎議員

森林における太陽光発電に関わる転用申請件数及び面積等の実態は。

伐採面積9.4ヘクタール
太陽光3件、6ヘクタール

町長

平成24年から現在まで26件、176筆で伐採面積は、9.4355ヘクタールである。県に林地開発許可申請書が提出され太陽光発電の用途に供する申請は3件、46筆で森林の面積合計は6.0432ヘクタールである。

事故等の責任は

神崎議員

太陽光発電設置に関する開発で、もしもこれに起因した山地災害、水害の発生、また景観が悪化した時、だれが責任を取るのか。

開発する事業者

町長

災害等について事故が

起きたとかそういう立場合についての責任は、あくまでも事業者にある。



菱田中学校跡地

菱田中学校跡地利用はまだ決まっていないか

神崎議員

菱田中学校跡地利用についてこれまでには有明高校跡地利用の詳細が決まっていますから判断し方向を示

スポーツ合宿の拠点施設と一体的に進める

町長

県が整備する大隅地域のスポーツ合宿の拠点施設やその周辺のくにの松原、あすばる大崎などの施設と一体となったスポーツ振興ゾーンとして活用が図られるよう検討を進めている。

実のある施設になるように努めるべき

神崎議員

最小の経費で最大の効果を発揮できるような英知を集め判断していく必要があると考えるがどうか。

協議を進めている

町長

やはりコストを低く抑えて最大の効果を発揮するよう、現在有識者や専門家との協議を進めていてある程度の内容は煮詰められている。今しばらく待っていただきたい。